



R.Kaji

## THE NAKAYAMA GRAND JUMP 第27回 農林水産省賞典 中山グランドジャンプ (J-GI)

1着 本賞 70,000,000円  
付加賞 427,000円  
2着 28,000,000円  
付加賞 122,000円  
3着 18,000,000円  
付加賞 61,000円  
4着 11,000,000円  
5着 7,000,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 4歳62kg、5歳以上63kg、牝馬2kg減

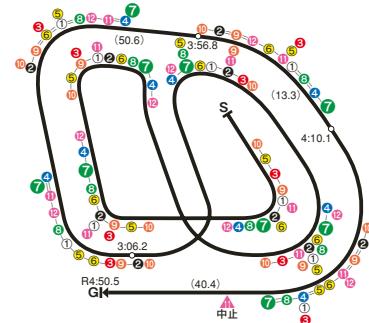
2025.4.19 中山 晴・良 芝4260m (国際)

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー (着差)	平均	馬体重	単勝	オッズ	調教師
						通過順位	ハロン (増減)					
1	⑦	エコロデュエル	牡6	63	草野太郎	R4:50.5 2-1-1-1	13.6	476(-2)	6.2(5)	岩戸孝樹(美浦)		
2	①	ネビーアーム	牡7	63	小坂忠士	6-6-4-3	13.7	536(+2)	16.2(6)	佐々木晶三(栗東)		
3	⑥	インプレス	牡6	63	牧加矢太	2½	5-5-3-2	13.7	524(-2)	5.8(4)	佐々木晶三(栗東)	
4	④	ジーンベロシティ	牡7	63	森 一馬	7	1-2-2-3	13.8	470(+2)	3.8(2)	武 英智(栗東)	
5	③	マイネルグロン	牡7	63	石神深一	4	9-8-5-3	13.8	516(-6)	3.4(1)	青木孝文(美浦)	
6	⑥	スマイルスルー	牡5	63	高田 潤	クビ	8-8-8-7	13.8	528(+4)	4.0(3)	齊藤崇史(栗東)	
7	⑤	アランデル	駄7	63	上野 翔	3½	7-6-5-6	13.8	538(-4)	37.8(7)	大竹正博(美浦)	
8	⑫	ビーターサイト	牡5	63	伴 啓太	10	4-4-9-8	13.9	476(-4)	263.2(9)	村田一誠(美浦)	
9	⑨	フラチナドリーム	牡6	63	中村将之	2½	10-10-10-10	13.9	476(-4)	242.2(1)	菊川正達(美浦)	
10	⑩	ザレストノーウェア	牡7	63	五十嵐雄祐	8	12-11-12-12	14.0	472(-4)	187.4(10)	新開幸一(美浦)	
11	②	ティエムタツマキ	牡7	63	黒岩 悠	大差	11-11-11-11	14.3	512(+4)	119.6(9)	武 英智(栗東)	
中止	⑪	バーンハウゼン	牡8	63	大江原圭	3-3-5-8	480(-10)	56.5(8)	天間昭一(美浦)			

単勝7620円(5%) 複勝7180円(4%) ①270円(6%) ⑧220円(5%) 枠連①-⑥1,760円(8%)

馬連①-⑦2,360円(12%) ワイド①-⑦670円(12%) ⑦-⑧610円(10%) ①-⑧1,030円(14%)

馬單①-④4,300円(22%) 3連複①-⑦-⑧4,050円(18%) 3連単⑦-①-⑧23,960円(95%)



上り 1マイル : 1:44.3 上り : 800m 600m  
53.7 - 40.4

### アラカルト

- 草野太郎騎手は中山グランドジャンプ初勝利。JRA重賞は本年初勝利。通算5勝目
- 岩戸孝樹調教師は中山グランドジャンプ初勝利。JRA重賞は本年初勝利。通算8勝目
- キタサンブラック産駒はJRA重賞通算19勝目
- 6歳馬の勝利は23年イロゴトシに続く通算5回目
- 本年は4260mで実施。勝ちタイム4:50.5は、同距離で実施された11年にマイネルネオスが記録した4:51.6を1秒1更新するコースレコードおよびレースレコード
- バーンハウゼンは10号障害[ハードル]着地時に転倒したため競走中止

# エコロデュエル *Ecoro Duel*

牡 青鹿毛 2019.5.4生  
北海道日高町 下河辺牧場生産  
馬主・原村正紀氏 美浦・岩戸孝樹厩舎  
馬名意味：冠名十決闘

		ケラリネットUSA系 F9-e
キタサンブラック 鹿毛 2012	ブラックタイド 黒鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA
	シュガーハート 鹿毛 2005	ウインドインハーヘアIRE
		サクラバクシンオー
		オメゴコロ
ケラリネットUSA Clarinet 鹿毛 2007	Giant's Causeway 栗毛 1997	Storm Cat
		Mariah's Storm
	Legs Lawlor 鹿毛 2002	Unbridled
		Evil Elaine

5代までのインブリード：Lyphard S 5×S 5

## INTERVIEW

### 下河切隆行車路(下河切牧場)

積極的ないしースがよかったですと思います

中山競馬場で観戦しました。無事に完走できたことが何よりも嬉しいです。レース前の岩戸調教師の宣言どおり、前走とは違って今日は思い切りのよい積極的なレースをしてくれた点がとてもよかったです。レース後、草野ジョッキーが喜んでいた姿も印象的でした。障害レースですので、まずは怪我をせず、この調子で今後も無事に走ってくれることを願っています。



S Suzuki

4歳時（2023年）の春に障害入りした後、順調に出世の階段を駆け上がり、同年11月の京都ジャンプSで早くも重賞初制覇を果たした本馬だが、その後の6戦は入着止まり、と悔しい足踏みを重ねた。連敗脱出の転機となつたのは前走の阪神スプリングジャンプで、動くに動けず、脚を余した格好で4着に終わつたレースの翌週、岩戸孝樹調教師と草野騎手はみつり話し合い、「この馬の持ち味は持久力」との認識を改めて共有したという。思い切ったロンジングスパートに馬もよく応え、非凡なスタミナをアピール。これまで先着を許してきた面々を従え、障害界の新たな王位を継承した。

父キタサンブラック

北海道日高町 ヤナガワ牧場生産 中央20戦12勝(ジャパンC<sub>G1</sub>、菊花賞<sub>G1</sub>、有馬記念<sub>G1</sub>、天皇賞(春)<sub>G1</sub>2回、天皇賞(秋)<sub>G1</sub>、大阪杯<sub>G1</sub>、京都大賞典<sub>GII</sub>、スプリングS<sub>GII</sub>)、年度代表馬2回、最優秀4歳以上牡馬2回、18年から供用  
〔代表産駒〕イクイノックス(ジャパンC<sub>G1</sub>、有馬記念<sub>G1</sub>、天皇賞(秋)<sub>G1</sub>2回、宝塚記念<sub>G1</sub>、ドバイシーマクラシック・首<sub>G1</sub>、東京スポーツ杯2歳S<sub>GII</sub>、日本ダービー<sub>G1</sub>2着、皐月賞<sub>G1</sub>2着)、ソールオリエンス(皐月賞<sub>G1</sub>、京成杯<sub>GIII</sub>、日本ダービー<sub>G1</sub>2着、宝塚記念<sub>G1</sub>2着、菊花賞<sub>G1</sub>3着)、クロフュデュノール(ホープフルS<sub>G1</sub>、東京スポーツ杯2歳S<sub>GII</sub>、皐月賞<sub>G1</sub>2着)、ウィルソンテソーロ(JBCクラシックJ<sub>n</sub><sub>I</sub>、白山大賞典J<sub>n</sub><sub>III</sub>、マーキュリーCJ<sub>n</sub><sub>III</sub>、かきつばた記念J<sub>n</sub><sub>III</sub>、チャンピオンズC<sub>G1</sub>2着2回)、ガイアフォース(セントライテ記念<sub>GII</sub>、フェブラリーリース<sub>G1</sub>2着)、スキルヴィング(青葉賞<sub>GII</sub>)、クリスマスパレード(紫苑S<sub>GII</sub>)、ピコチャンバラック(スプリングS<sub>GII</sub>)、他に重賞勝ち馬多数

母クラリネットUSA

北米11戦4勝(フレイミングペイジS・加L)、13年輸入  
　　プラタナスロード(14 牝父ディープインパクト)不出走  
　　ファゴット(15 牝父ディープインパクト)中央3戦0勝  
　　ハーツシンフォニー(17 雄父ハーツクライ)中央18戦0勝、障害17戦2勝⑨  
　　シャンブル(18 牝父ハーツクライ)中央28戦4勝(シャングリラS、柏崎特別)、  
　　地方4戦0勝

**エコロデュエル** 本馬(19 牡父キタサンブラック)中央10戦1勝、障害12戦4勝(中山グランジャンプJ・G<sub>I</sub>、京都ジャンプS J・G<sub>III</sub>、中山大障害J・G<sub>I</sub> 2着、東京ハイジャンプJ・G<sub>II</sub> 2着、阪神スプリングジャンプJ・G<sub>II</sub> 2着、中山大障害J・G<sub>II</sub> 3着) 獲得賞金224,330,000円

クラリティー(22 牝父サトノダイヤモンド)中央2戦0勝 現

※16、21、23、24(不受胎)、20(前年種付せず)

### 祖母レッグズローラー Legs Lawlor

アメリカ産 愛勝

クラリネットUSA(07 前出)

リサージェンス Resurgence(10 牡父Awesome Again)北米4勝

曾祖母イーヴィルエリザン Evil Elain

アメリカ産 北米4勝(コロナドS・L、スクールキルS 2着、ニューホープS 2着)、**フェイヴァリットトリック** Favorite Trick(BCジュベナイル・米G1、ホープフルS・米G1、米年度代表馬、種牡馬)の母、**ムーンシャインメモリーズ** Moonshine Memories(シャンデリアS・米G1)の祖母

非凡な持久力で障害  
昨年度の最優秀障害馬ニシノディビジ  
ーが今年から種牡馬に転身。空位とな  
った王座を争う春の決戦・中山グラン  
ドジャンプは、実績馬とJ・GI初挑  
戦の新星が一堂に会し、群雄割拠の様  
相を呈した。ファンの評価も割れたた  
か、2年前の最優秀障害馬マイネルグ  
ロンが1番人気、重賞4勝のジューイン  
ベロシティと4連勝中の新星スマイル  
スルーが2、3番人気に支持されたま  
での、勝利を飾ったのは5番人気のト  
コロデュエル。身上の持久力を前面に  
押し出したキタサンブルック産駒が、  
ワンサイドの戴冠劇を演じた。

序盤はピーター・サイトを先に遣り、  
2番手に控えたジューインベロシティが

最初の難関・大竹柵障害の飛越で先頭に立ち、レースを先導。エコロデュエルの草野太郎騎手は3番手につけ、待機策を選んだスマイルスルーは中団を進む。一方のマイネルグロンは後方から3番手で折り合いに専念、じっくりと末脚を温存した。